

平成30年6月25日

政務活動費使用計画届出書

届出者 竹内 功治 (代表者) / 中川 健一 /

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

災害発生後に進めている集団移転事業について

○目的

(半田市にどのように活用できるか、半田市の可能性をどのように切り拓けるか)

東日本大震災によって、海岸部は甚大な津波被害に見舞われた。現在、その津波の被災地では、安全な高台地域に集団移転する事業が進められている。半田市においても東南海地震で津波被害が起きた場合、集団移転が問題になる可能性がある。そこで集団移転事業について、自治体として取組みの進め方、関連地区との連携の仕方、またそれに関わる事前準備で出来ることなどを調査研究し、防災・減災だけでなく、被災後の復旧・復興の対策についても考える。

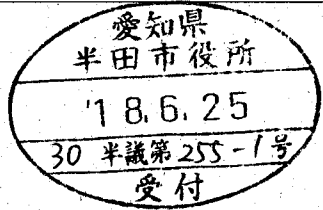
○概要

(どこに何を調査しに行くのか。視察の場合は特にその特徴は何か、事前調査すること) (資料購入の場合には、選定理由を記載すること)

日にち 平成30年7月18日(水)、19日(木)

行先・内容
・宮城県仙台市
市で移転場所を決めて整備し、津波被災地を災害危険区域として住宅用建築物を禁止し、住民説明会を実施しながら集団移転している。行政主導で集団移転している。
移転予定戸数 1773戸(1540世帯)
・宮城県岩沼市
津波被害を受けた6地区が代表者会や住民アンケートなどを実施し移転場所を選定して、同じ町内になり集団移転している。行政と自治区が協働しながら集団移転している。
集団移転戸数 336戸(約1000人)
行政と自治区との連携の仕方、コミュニティ活動の維持、集団移転の課題、現在起きている問題、集団移転後の被災場所の土地活用などについて学ぶ。

Table with 3 columns: 確認欄, 議長, 管理委員長



○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間（概略可）	内容		金額（円）
7/18 (水)	6:57-7:35	亀崎-名古屋	J R武豊線	320
	8:06-9:50	名古屋-東京 (のぞみ296号)	J R新幹線	10,150 (指定4,830)
	10:20-11:52	東京-仙台 (はやぶさ15号)		
		昼食		
	13:09-13:12	仙台-勾当台公園	市営南北線	200
	13:30-15:30	仙台市視察 (仙台市役所)	手土産 2,000円× 2市÷2人	2,000 ※1
		宿泊（仙台市内） ホテルユニサイト仙台		5,300
7/19 (木)	7:53-8:16	仙台-岩沼	J R東北線	320
	8:31-8:43	岩沼駅東口-岩沼市役所	岩沼市民バス	200
	9:00-11:30	岩沼市視察 (岩沼市役所・現地)	手土産 2,000円	※1に含む
		昼食		
	13:57-14:18	岩沼-仙台	J R常盤線	10,480
	14:30-16:04	仙台-東京 (はやぶさ20号)	J R新幹線	10,150 (指定5,260)
	16:50-18:31	東京-名古屋 (のぞみ51号)		
	18:43-19:24	名古屋-亀崎	J R武豊線	320
		合計	49,470	

別記様式第1号（第2条関係）
 政務活動費使用計画書

平成30年6月25日

半田市議会議長
 嶋崎 昌弘 殿

議員名 竹内 功治



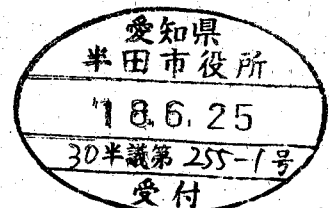
政務活動費使用計画書

1 計画の内容（単位 円）

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	49,470	49,470	災害発生における集団移転事業について、半田市での有効性を調査研究すべく、先進地視察（仙台市・岩沼市）を行う。
支出合計	49,470	① 49,470	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額（②） 0円

3 ①+② 49,470円



別記様式第1号（第2条関係）
政務活動費使用計画書

平成30年6月25日

半田市議会議長
鳴崎 昌弘 殿

議員名 中川 健一



政務活動費使用計画書

1 計画の内容（単位 円）

使途項目	予算額	左のうち政務活動費充当額	事業計画
調査研究	49,470	49,470	災害発生における集団移転事業について、半田市での有効性を調査研究すべく、先進地視察（仙台市・岩沼市）を行う。
支出合計	49,470	① 49,470	

2 上記計画前までに請求した政務活動費の合計金額 (②) 0円

3 ①+② 49,470円

